

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://seaclub.power.co.jp/
E-mail:gyoren@power.co.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699
J F 香川漁連

JF全漁連

漁協運動功労者表彰

地濱 稔

高松市瀬戸内漁業協同組合代表理事組合長



地濱 稔 氏

JF全漁連は11月21日(木) 創立50周年記念・平成14年度(第17回)漁協運動功労者表彰

合同式典と祝賀会を東京・紀尾井町のホテルニューオ・タニで開催した。式典では、漁協運動功労者表彰と50周年記念功績者表彰が執り行われた。

この漁協運動功労者表彰は、漁協系統運動の推進・発展に功労のあった者に対しJF全漁連が表彰しているもので、本県から地濱稔氏(高松市瀬戸内漁業協同組合代表理事組合長)が受賞した。

地濱組合長は、昭和18年より59年の長きにわたり漁業一筋に従事している。昭和39年には高松第一漁業協同組合理事に就任し、昭和56年には副組合長理事、さらに平成3年に代表理事組合長に就任した。組合員の漁業の近代化を促進し、生産性の向上を図るため漁業生産基盤である漁業関連施設の整備を図り、また、「獲る漁業からつくり育てる漁業」を提起し、限りある資源の増大を目指し、重要稚仔の放流を行うとともに、栽培漁業の先駆者として行動した。さらに、平成8年には自ら働きかけた4漁協による合併を成功させ、漁協基盤強化に大きく貢献した。

50周年記念功績者表彰

竹沢 忠 香川県漁業協同組合連合会代表理事専務

宮城正巳 前香川県信用漁業協同組合連合会代表理事常務



竹沢 忠 氏



宮城正巳氏

JF全漁連創立50周年記念として、長年にわたり漁業協同組合運動を推進し、JF全漁連の運営発展に寄与した者に感謝状を贈呈されるもので、本県からは、竹沢忠氏(香川県漁業協同組合連合会代表理事専務) 宮城正巳氏(前香川県信用漁業協同組合連合会代表理事常務)の2名が受賞した。

竹沢専務は、昭和37年香川県漁連に入会して以来、現在に至るまで40年の長きにわたり精励され、平成5年常務理事に就任、平成14年には代表理事専務に就任された。

宮城前常務は、昭和38年に香川県信漁連に入会して以来、平成14年6月退任に至るまで、39年の長きにわたり精励され、平成2年常務理事に就任、平成6年には代表理事常務に就任された。

平成14年度「統計の日」記念式典

農林水産大臣感謝状受賞

香川県統計情報事務所は、10月18日の「統計の日」記念式典において、平成14年度農林水産大臣感謝状の伝達式を執り行いました。

伝達式には、農林水産統計調査に永年にわたり協力した功績が高く評価された17名の方々に対して、農林水産大臣及び農林水産省大臣官房統計情報部長から一人一人に感謝状が贈られた。

水産関係からは、牟礼漁協の小山良明氏・東讃漁

協田中敏彦氏・佐柳漁協小崎安政氏が受賞されました。なお、この表彰対象者は、農林水産統計調査の傍ら、安全で安心・新鮮な農産物や水産物を消費者に提供するため、日夜、意欲的に取り組んでおられる方々、また、豊かな暮らしを実現するため、地域や各業界のリ - ダ - として活躍しておられる方々です。

統一的な漁業施策へ

栽培など 5 部会新設

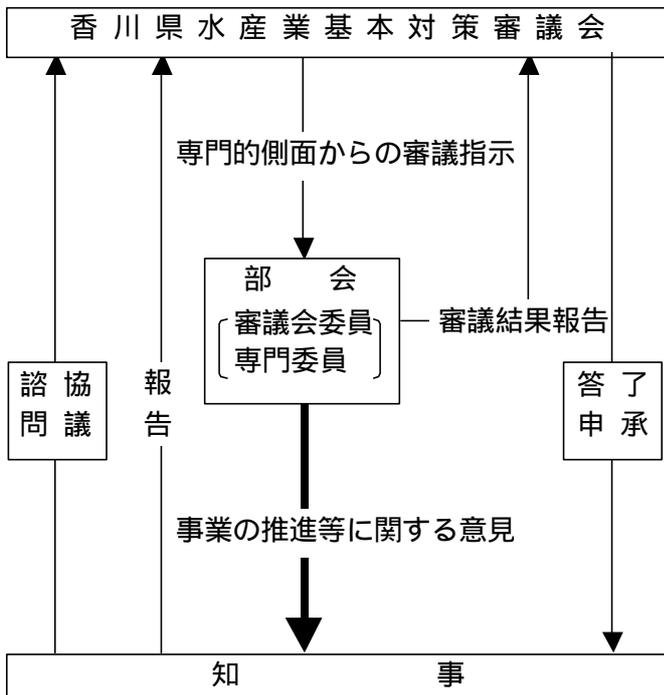
県は、10月21日県栽培漁業推進協議会など水産課所轄の四協議会を廃止して、県水産業基本対策審議会の部会として再編・設置することを明らかにした。水産業を取り巻く社会経済環境の変化に対応し、審議会の機能を高めるのが狙い。これまで栽培漁業、養殖業ごとに施策展開していた点を改め、統一的で計画的な施策を推進する。

県水産業基本対策審議会で提案され、廃止するのは県栽培漁業推進協のほか、県魚類適正養殖協、県漁業担い手対策協、県水産物流通対策協の四協議会で、県魚類防疫会議は存続させることが了承された。

審議会の部会に衣替えするのは、栽培漁業、養殖振興、担い手、流通対策の四部会であり再編に合わせて、これまでなかった漁場整備を担当する部会を新設した。

また、任期満了に伴う役員改選では、会長に服部郁弘県漁連会長を、副会長に嶋野勝路県かん水養殖漁協組合長を選任した。

【審議会と部会の関係】



新人職員奮闘記

「東京支所三崎事務所での研修」 河原 立季

私は、4月から約半年間、神奈川県三崎事務所にて新人職員研修をさせていただきました。三崎では、それぞれの産地から運ばれて来た魚を小割に移し、魚を取引先に出荷するまでの作業を行っています。此处での職員の仕事は、各自が一つの定められた作業をするのではなく、魚の受け取りからトラックに積み込んで目的地に向けて送り出すまでのあらゆる作業をするため、全ての作業と出荷の流れを把握していなくてはなりません。特に重要なのは、出荷作業中の流れを中断させずにスムーズに行えるようにするという事です。

職員は、取引先から受注した魚の種類、尾数、指定されたサイズ等を出荷に関わる全ての人に伝えるのですが、それを間違えるという事は出荷作業を中断させる最も大きな要因になります。しかし、私は何度も伝達ミスをしてしまい、何回も出荷の流れを塞ぎ止め、多くの人達に迷惑をかけてしまいました。勿論、間違えれば上司や先輩から注意されますが、自分が注意を受けるよりも一生懸命作業をしているアルバイトの人達に迷惑がかかったという事が申し訳なく、その度に、「次は間違えないようにしよう」と思いました。

その後、何度も同じ間違いを繰り返しましたが、自分の為だけでなく、自分の周りの人達の為に責任を持って行動・仕事をするという考えを持てるようになりました。また、物事を円滑に進める為には周りの人達と上手くコミュニケーションを取らなければならないという事も知りました。三崎はそういった事を身を持って学ぶ事が出来る場所だと思います。

新人研修はまだ続きますが、三崎での研修は今後必ず役に立つと確信しています。



出荷基地での作業風景

おいしかった出世鍋！



梶野さんの温かいトークと浜さんの包丁さばきが素晴らしいね。僕たちも、刺身作りに挑戦したよ。



男子も女子も力を合わせて、下準備をしたよ。おいしいものには、手をかけないとね。

外で食べる出世鍋は、格別おいしいね。校長先生と教頭先生からの新米もおいしかったし、4、5杯も食べた子も！！ハマチでかしくなれたかな？



さめき出世鍋 (ハマチのしゃぶしゃぶ)



お魚体験学習会

屋島東小 5 年生

庵治漁業協同組合では、近隣の小学生を対象に総合学習の一環として、魚の良さや水産業への理解を深めてもらおうと「お魚体験学習会」を開催した。

10月18日、屋島東小学校5年生（児童25名及び校長、教頭、担任の先生方）は、9時に庵治漁港を出発し、まず、カンパチを出荷している活魚船に乗り移り、嶋野組合長の説明を聞きながら熱心に出荷作業を見学した。児童は初めて見る出荷作業に感心しながら、クレーン式のタマ網で小割からすくい上げたカンパチが、ピチピチ飛跳ね、その水しぶきが顔にかかりながらも、船内の活間に移される様子に思わず歓声を上げていた。

続いて、ハマチの投餌作業を熱心に見学した。投餌機の先から大量に餌を飛ばすと、水面に跳ねて摂餌し、群泳するハマチの迫力に眼を見張っていた。その後、10時20分に帰港し、庵治漁協2階会議室において約1時間、水産学習をおこなった。

また、11月7日には屋島東小学校家庭科室に場所を移し、9時からハマチの料理及び試食会を開催した。まず、庵治魚類養殖研究会浜会長がハマチ4kg2本を3枚におろした後、児童達が慣れない手つきで、皮引きをした後、刺身及びさめき出世鍋にし

て試食した。

児童達は、自分達が捌いた刺身と、料理したさめき出世鍋を美味しい美味しいと舌包みを打ちながら全て平らげた。

さめき出世鍋のレシピについては(社)香川県水産振興協会にお問い合わせ下さい。

主な行事予定 (12/1~12/31)

- 12月 3日(火) 香川県養殖業高度化推進協議会
- 3日(火) 平成15年度予算要望
- 4日(水) 第1回のり入札
- 4日(水) 第24回全国豊かな海づくり大会
基本計画企画コンパ 審査委員会
- 5日(木) JF 共済推進本部運営委員会
- 12日(木) JF 共済推進組合長・担当者合同会議
- 14日(土) 第2回のり入札
- 24日(火) 第3回のり入札
- 25日(水) 漁連理事会
- 28日(土) 仕事納め